Epales Eff

令和7年(2025年) I I 月

しょうだいがっこうきゅうしょくきょうどうちょうりじょ 招提学校給食共同調理場

※おうちの人と一緒に読みましょう

実りの秘食べ物を大切にいただきましょう

校庭の未々が色づき、自に自に税が深まってきたことを懲じます。昔から日本人にとって重要な穀物であるお菜をはじめ、大豆やそば、重いもなど、さまざまな作物が収穫時期を迎えています。各地で収穫を祝うお祭りが開催され、11月23日には「新嘗祭」という伝統的な営や行事が行われます。この自は「勤労懲謝の自」として国民の祝日になっていますが、食べることは、たくさんの人の勤労に支えられていることを忘れずに、自々の食事を大切にいただきましょう。



27日(木)に登場します!





ウマウマ!!さばのカレーあんぶっかけ ~器後のこんだてより~

《材料(5人分)》

"" · • · · · · · · · · · · · · · · · · ·
·さば(角切り) ·····200 g
・土生姜(すりおろし)・・・5~g
・こいくち醤油 ・・・・・・ IO g
・カレー券 ・・・・・・・・・・・・少々
・かたくり粉・・・・・・・適量
・揚げ 油 ・・・・・・・・ 適量
·玉ねぎ(薄切り) ·····50 g
· 人参(羊切り) · · · · · · · I5 g
・しいたけ(細切り) ・・・・10g
·

・サラダ猫 ・・・・・・・・・・・・ : : : : : : : : : : : : :	量
・とりがらスープ・・・・・3	
・こいくち醤油・・・・・・5	g g
·料理酒 ······2.5	9 9
・みりん ・・・・・・2.5	
・オイスターソース ・・・2.5	g g
・カレー影 ・・・・・・・・・・・ジ	はう
・かたくり粉・・・・・・・」	₅ 4
·就 ······25 [°]	9 9

《作り方》

①さばに主生姜、こいくち醤油、カレー粉で下味 をつけ、かたくり粉をまぶし、180℃の猫で 揚げる。[A]

②フライパンに満を熱し、宝ねぎ、大参を炒める。 ③光、しいたけ、調味料を入れて煮る。

④ 水溶きかたくり粉でとろみをつけ、 着ねぎを 入れる。

⑤④に①のさばを入れて混ぜ合わせる。

※給食の量を基準にしていますので、 家庭で調理する時は調整してください

日本人の伝統的な食文化

「和食」というと何を思い浮かべますか?ご飯・みそ汁・おかずの組み合わせや、すし、そば、うどん、笑ぶら、おでんなどの料理を思い浮かべる人もいるかもしれません。また、ラーメンやカレーといった外菌から伝わった料理も、アレンジが加えられて日本独自の料理として発展し、外菌人観光客にも人気のグルメとなっています。

一方で、ライフスタイルの変化によって、地域に伝わる郷土料理や行事管などの伝統的な管党化が失われつつあり、その保護・継承が課題となっています。そのような背景から、2013年に「和食;日本人の伝統的な管党化」がユネスコ無形党化遺産へ登録されました。これは料理としての和管だけでなく、「首然の尊重」という日本人の精神を体現した管に関する「社会的管習」のことで、以下の4つがその特徴として挙げられています。

☆「和食」の特徴









「和食」に欠かせないもの



ご飯として食べるほか、団子や 静にしたり、発酵させて調味料にし たりと、発酵を変えて開いられます。

だしく

記布やかつお節、煮手し、ほししいたけなどの食材から「うま味」を引き出したもので、和食の味の基本です。「うま味」は日本人が発覚した日本独自の味覚で、海外でも「UMAMI」と呼ばれます。

発酵調味料



微生物の方を利用して、独特な 風味やうま味を作り出した発酵調味料 の数々も、和食には欠かせません。

・ 日本の食文化を大切にするために、心がけたいこと

食器を正しく並べましょう



「いただきます」「ごちそう さま」を心をこめて言いま

しょう

いただきます

おはしを正しく使いま しょう



かいき、つた きょうどりょうり 地域に伝わる郷土料理 ぎょうじしょく あじ や行事食を味わって みましょう







さだ西小学校の児童が考えてくれました。

さばのくさみが苦手な人も、食べやすい味付けになっています。